

平成25年度より、大学などの優れた基礎研究の成果を確実に医薬品の実用化につなげるため、医薬基盤研究所が中心となって、理化学研究所及び産業技術総合研究所と連携しながら、大学・研究機関や関係府省で構成する「創薬支援ネットワーク」を構築し、有望なシーズに対して切れ目のない支援を行い、治験への導出等を図る予定となっています。

このオールジャパンでの創薬支援体制の構築に向けて、大学などにおける創薬の取組みを紹介するとともに、今後の展望について議論します。

公開シンポジウム

オールジャパンでの創薬支援体制の構築に向けて

シンポジウムプログラム

開会挨拶 医薬基盤研究所 理事長 米田 悦啓
来賓祝辞 内閣官房長官
厚生労働大臣

大阪府知事
日本製薬工業協会会長

2013年5月17日(金)
13:30-16:00

千里ライオンサインセンターライオンホール
(大阪府豊中市新千里東町1-4-2)

定 員：420名
参加費：無料(事前申込、先着順)

主催：独立行政法人医薬基盤研究所
独立行政法人理化学研究所
独立行政法人産業技術総合研究所

共催：公益社団法人関西経済連合会

後援：文部科学省
厚生労働省
経済産業省
大阪府
日本製薬工業協会
(一部関係者)

特別講演 「オールジャパンでの創薬支援体制」

厚生労働省技術総括審議官 三浦 公嗣

パネルディスカッション

「オールジャパンでの創薬支援体制の今後の展望について」

〈演者〉(○:座長、※:総括)

○医薬基盤研究所 理事 創薬支援戦略室設置準備室長	榎 林 陽一
※理化学研究所 創薬 医療技術基盤プログラムプログラムディレクター	後 藤 俊男
産業技術総合研究所 理事	湯 元 昇
東京大学 創薬オーガナイゼーションセンター 特任教授	長 野 哲雄
京都大学大学院 医学研究科 教授	萩 原 正敏
大阪大学 未来戦略機構 創薬基盤科学研究部門長	土 井 健史
医薬基盤研究所 相談役 (指定発言)	竹 中 登一
日本製薬工業協会 常務理事 (指定発言)	川 原 章

閉会挨拶 産業技術総合研究所 理事 湯 元 昇

資料4

公開シンポジウム開催に当たってのご挨拶



平成25年度からのオールジャパンでの創薬支援体制の始動に向けて、本シンポジウムを開催することができ、非常に嬉しく思っております。

この創薬支援体制の実効的な運営のためには、医薬基盤研究所を中心に、理化学研究所及び産業

技術総合研究所、さらには、大学などのアカデミア、行政機関、製薬企業などが密接に連携・協力しながら、アカデミア発創薬のボトルネックを解消していく必要があります。

このシンポジウムが関係者による連携・協力を緊密化し、アカデミア発の革新的医薬品の実用化につながる一助となることを願っております。

医薬基盤研究所 理事長 米田 悦啓



関西イノベーション国際戦略総合特区では、最先端の研究を進めている企業や大学等の集積を活かした医療分野の国際競争力強化を目指しています。

一方、国際的な創薬競争が激しさを増している中、わが国ではイノベーションの種を市場化するプロセスがボトルネックとなっており、基礎研究から治験に至るまでを、国をあげて間断なくサポートする枠組みづくりが急務です。

本シンポジウムにおいて、オールジャパンでの創薬支援体制構築に向けた議論が深められ、わが国の創薬基盤の強化と特区事業の推進に大きな弾みがつくことを期待しています。

関西経済連合会 会長 森 詳介

参加申込について

本シンポジウム参加の申込は、ご氏名、ご所属と役職、E-mailアドレスを記して以下のメールアドレスまでお願いいたします。

E-mail : sousym0517@nibio.go.jp (シンポジウム開催事務局)

- ・前日17時までにお申込があった場合、参加証を送付いたします。
- ・先着順といたします(定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。)
- ・できるだけE-mailでお願いいたしますが、E-mailが使えない場合には、上記内容を記して、FAX(072-641-9821)でお申し込みください。
- ・ご記入いただいた個人情報(本シンポジウム開催のためにのみ主催者が取り扱い、第三者には一切提供いたしません。

会場までの交通のご案内

千里ライオンサイエンスセンター
〒560-0082大阪府豊中市新千里東町1-4-2

- 地下鉄 (北大阪急行電鉄)
御堂筋線千里中央行終点「千里中央」駅下車
(北出口すぐ)

- 伊丹空港からお越しの方
大阪モノレール門真市行「千里中央」駅下車
(徒歩約5分)

- 新幹線新大阪駅からお越しの方
「新大阪」で地下鉄御堂筋線「千里中央」行に
乗り換え

